

 <p>JWRC 水道ホットニュース</p>	<p>(公財)水道技術研究センター 〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-28 K. I. S 飯田橋ビル 7F TEL 03-5805-0264, FAX 03-5805-0265 E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp URL http://www.jwrc-net.or.jp</p>
--	---

(英国) 飲料水検査官事務所 (DWI) について

(はじめに)

英国のイングランド・ウェールズにおける水道水の水質については、英国政府の組織である「飲料水検査官事務所 (DWI : Drinking Water Inspectorate)」が管轄しています。DWIは水道事業が民営化された後の1990年に設立され、民営水道会社が供給する水道水の安全性についての監視とチェックを任務としています。

一方、本年(2019年)7月9日(火)～11日(木)、水道技術研究センターと横浜市水道局の共催で、第11回水道技術国際シンポジウムを横浜市内で開催することとしており、7月9日(火)の海外招待講演では、英国飲料水検査官事務所(DWI)の最高検査官(Chief Inspector)である Marcus Rink氏から「イングランド・ウェールズの飲料水水質規制」について講演をいただく予定です。

そこで、以下に「飲料水検査官事務所 (DWI)」の概要を紹介することとします。

(出典) The Drinking Water Inspectorate Business performance report 2016/17
July 2017
A report by the Chief Inspector of Drinking Water
http://www.dwi.gov.uk/about/our-strategic-plan/bpr_16-17.pdf

(参考1)

水道ホットニュース第475-2号(2015年8月7日)
イングランドの水道水水質：25年間の規制後の状況－(2015年7月、飲料水最高検査官報告)
<http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/pdf/HotNews475-2.pdf>
水道ホットニュース第625号(2018年8月31日)
英国「水道水2017年報告」(その1)
<http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/pdf/HotNews625.pdf>
水道ホットニュース第626号(2018年9月7日)
英国「水道水2017年報告」(その2)
<http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/pdf/HotNews626.pdf>

(参考2) 第11回水道技術国際シンポジウム

The 11th International Symposium on Water Supply Technology in Yokohama 2019
<https://water2019.jp/>

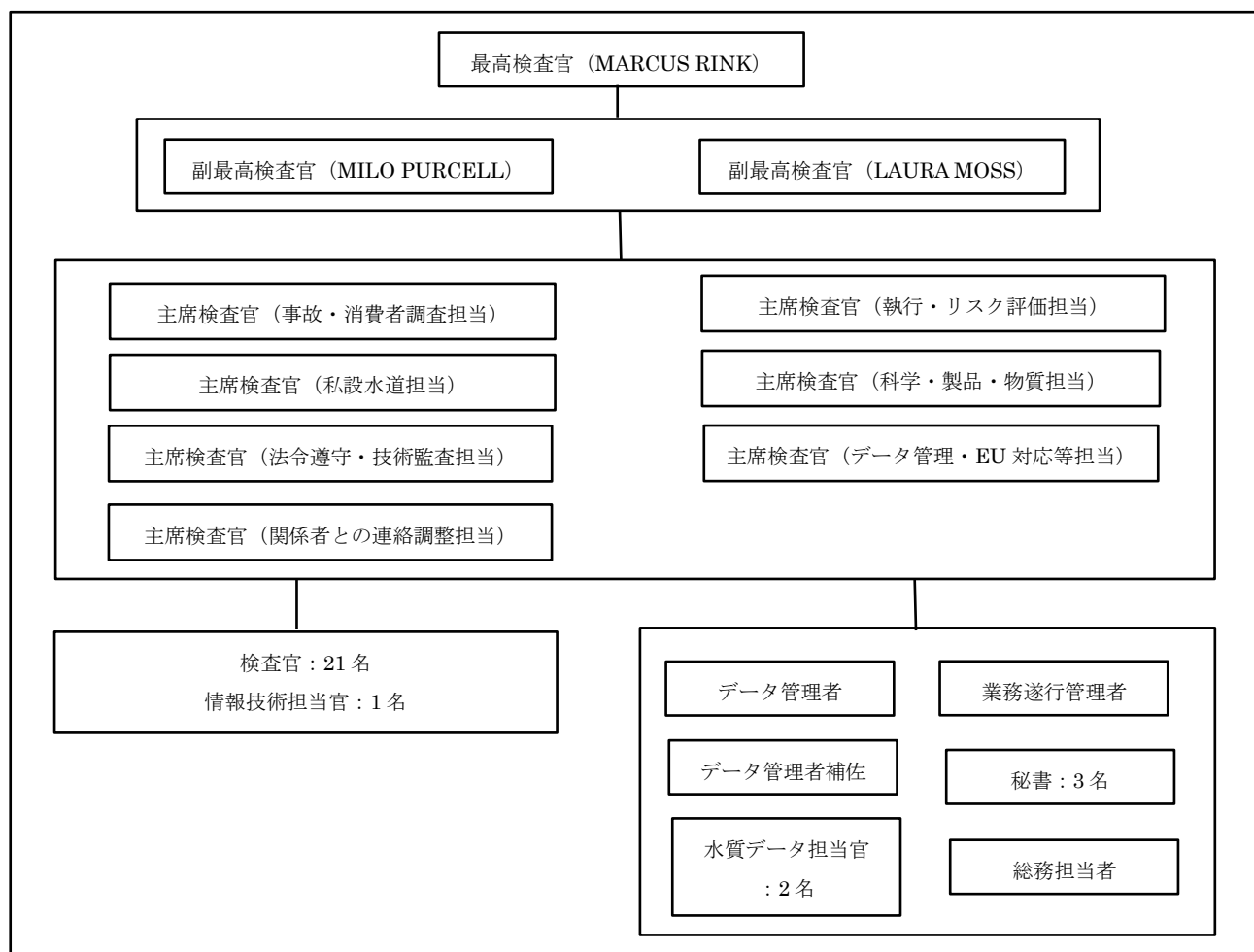
1. 飲料水検査官事務所（DWI）の主な任務

飲料水検査官事務所（DWI）は、イングランド・ウェールズにおいて民営化された上下水道産業が安全で清浄な水を消費者に供給するため、1990年に英国議会によって、独立した機関として設立された。イングランド・ウェールズにおける水道に対する規制の枠組みは、運営権限及び責務や水道事業者の義務を含め、法令で定められている。飲料水最高検査官（Chief Inspector of Drinking Water）は環境・食料・農村地域大臣及びウェールズの大臣によって任命され、最高検査官には一定の権限が直接授与され、その業務には明確な独立性が保証されている。検査官事務所の規制上の役割に加えて、最高検査官及び検査官は、環境・食料・農村地域大臣及びウェールズの大臣からあらゆる飲料水の問題に関する技術アドバイザーとして任命されている。検査官事務所の機能と権限を定めた基本法令は、1991年上下水道産業法（2003年水法及び2014年水法により改正）である。

2. 飲料水検査官事務所（DWI）の組織・人員

飲料水検査官事務所（DWI）の組織・人員は、下図のとおりである。

飲料水検査官事務所（DWI）の組織図



飲料水検査官事務所はロンドン中心部に位置する 1 事務所だけであるが、そのスタッフはイングランド・ウェールズを通じて柔軟に業務を行っている。飲料水検査官事務所のスタッフは 41 名であり、その内訳は、31 名の認証された検査官と 10 名の技術・支援スタッフである（上図を参照）。検査官は、豊富な技術的、科学的又は工学的な背景を持つ経験豊富な専門家である。飲料水検査官事務所の技術・支援スタッフは、データ管理、情報・ナレッジ管理及びビジネス管理の専門家などである。

3. 飲料水検査官事務所の財政収支

間接費を含む飲料水検査官事務所の運営費は、毎年約 350 万英国ポンド (5 億 2,500 万円) である。これらの費用の大部分は、規制サービスのための費用回収として水道会社によって賄われている。また、浄水処理及び配水に使用される製品認証の費用回収によっても賄われている。

残りは、環境・食料・農村地域省 (Defra : Department for Environment, Food & Rural Affairs) によって賄われており、政策アドバイスの支援、検査官事務所が欧州や国際的に活動する機能、そして、私設水道に関する業務に関連するものである。

[表 1] 各水道会社の DWI への費用負担額 (2016/17 年度)

会社名	① 水質試験結果確認費用	② 監査、事故及び苦情対応費用
Affinity Water	£101,915 (15,287,250 円)	£15,470 (2,320,500 円)
Albion Water	£220 (33,000 円)	£780 (117,000 円)
Anglian Water	£212,905 (31,935,750 円)	£33,345 (5,001,750 円)
Bournemouth Water	£20,240 (3,036,000 円)	£3,185 (477,750 円)
Bristol Water	£67,100 (10,065,000 円)	£10,270 (1,540,500 円)
Cambridge Water	£14,465 (2,169,750 円)	£8,840 (1,326,000 円)
Cholderton and District Water	£550 (82,500 円)	£2,600 (390,000 円)
Dee Valley Water	£15,565 (2,334,750 円)	£4,940 (741,000 円)
Dŵr Cymru Welsh Water	£122,815 (18,422,250 円)	£38,480 (5,772,000 円)
Essex and Suffolk Water	£57,090 (8,563,500 円)	£7,605 (1,140,750 円)
Hartlepool Water	£2,090 (313,500 円)	£1,625 (243,750 円)
Independent Water Networks	£440 (66,000 円)	£1,755 (263,250 円)
Leep Water Networks	£275 (41,250 円)	£0 (0 円)
Northumbrian Water	£100,595 (15,089,250 円)	£18,330 (2,749,500 円)
Portsmouth Water	£20,295 (3,044,250 円)	£4,875 (731,250 円)
Severn Trent Water	£292,160 (43,824,000 円)	£91,520 (13,728,000 円)
SES	£21,670 (3,250,500 円)	£10,240 (1,536,000 円)
South East Water	£127,765 (19,164,750 円)	£46,865 (7,029,750 円)
South Staffordshire Water	£45,155 (6,773,250 円)	£9,685 (1,452,750 円)
South West Water	£107,745 (16,161,750 円)	£22,945 (441,750 円)
Southern Water	£133,705 (20,055,750 円)	£63,115 (9,467,250 円)
SSE Water	£6,545 (981,750 円)	£390 (58,500 円)
Thames Water	£264,385 (39,657,750 円)	£46,215 (6,932,250 円)
United Utilities	£223,465 (33,519,750 円)	£102,570 (15,385,500 円)
Veolia Water Projects	£1,705 (255,750 円)	£3,835 (575,250 円)
Wessex Water	£127,490 (19,123,500 円)	£32,305 (4,845,750 円)
Yorkshire Water	£194,755 (29,213,250 円)	£23,790 (3,568,500 円)
小計	£2,283,105 (342,465,750 円)	£605,605 (90,840,750 円)

(注) 1 英国ポンド (£) = 150 円として試算。

[表 2] 各水道会社の DWI への費用負担額及び製品認証費用の合計額 (2016/17 年度)

①水質試験結果確認費用	£2,283,105 (342,465,750 円)
②監査、事故及び苦情対応費用	£605,605 (90,840,750 円)
③ 製品認証費用	£60,300 (9,045,000 円)
合計	£2,949,010 (442,351,500 円)

(注) 1 英国ポンド (£) = 150 円として試算。

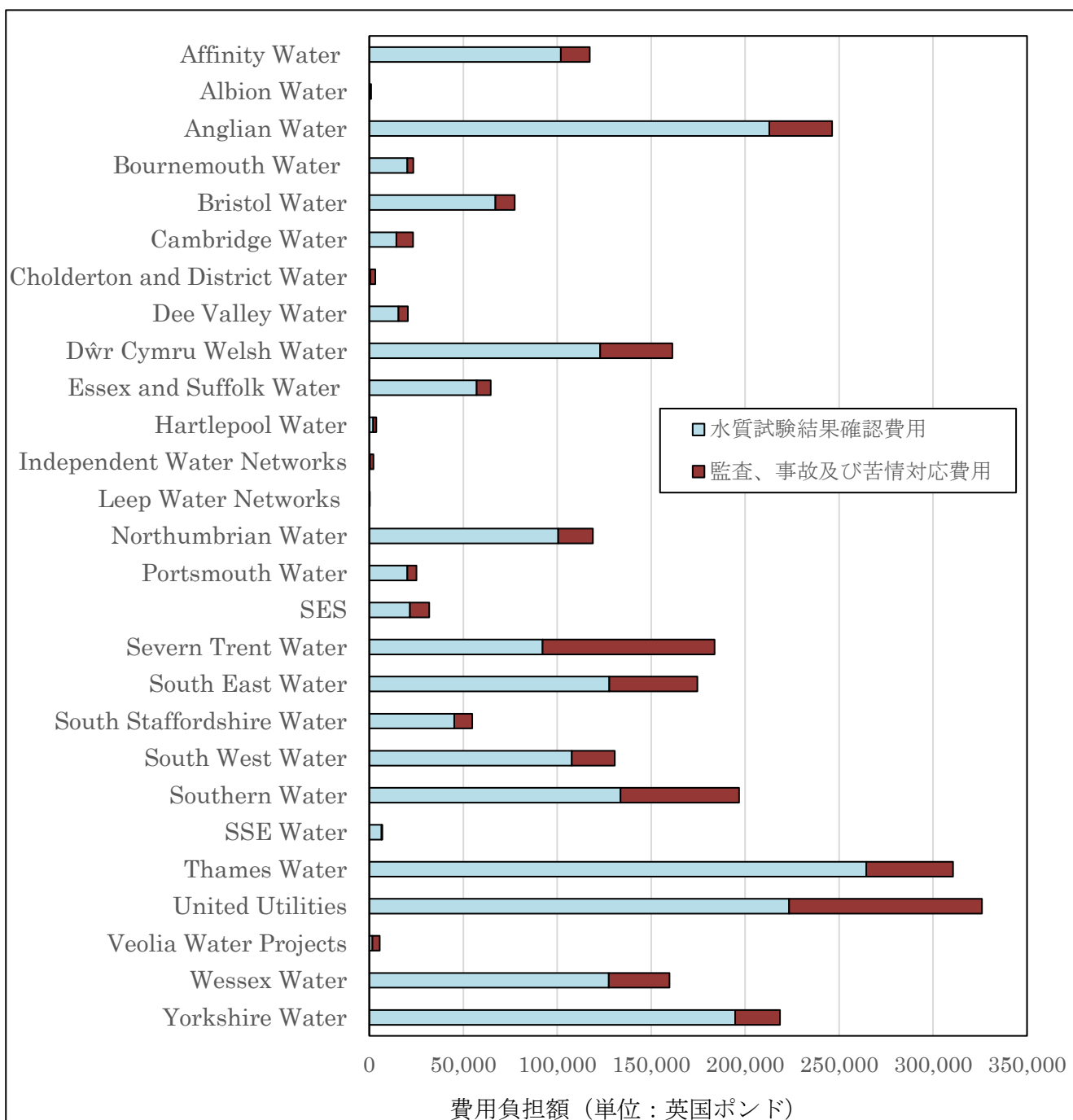


図 各水道会社の DWI への費用負担額 (2016/17 年度)

JWRC

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28 K. I. S飯田橋ビル7F (公財) 水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-5805-0264 FAX 03-5805-0265

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h30.html>

水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。
なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。